

建設現場における省力化と品質安定を実現した「マルチダクトシステム」を開発

フジモリ産業株式会社

空研工業株式会社

フジモリ産業株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役会長兼社長：藤森 行彦）並びに空研工業株式会社（本社：福岡県福岡市、代表取締役社長：檜木 隆）は、空調用分岐チャンバーからダクト、吹出口までの施工の省力化と、接続部の品質安定を実現した一環ダクトシステム「マルチダクトシステム」を開発しました。大規模再開発におけるオフィスビルなどの一般空調工事での普及を目指しています。

建設現場では、慢性的な技能工不足に加えて、限られた工期の中で品質を確保する工法が求められています。中でも一般空調工事は、機器や外気取入口、吹出口などの間をダクトでつなぎますが、吹出口の数によってダクトの接続箇所数は増え、作業工数も増加する傾向にあります。また、高所作業であることに加え、複雑なダクト経路によって接続不良が起こる可能性があります。それは結露や空調不良といった不具合につながります。「マルチダクトシステム」はそのような事態を未然に防ぐ画期的なシステムです。

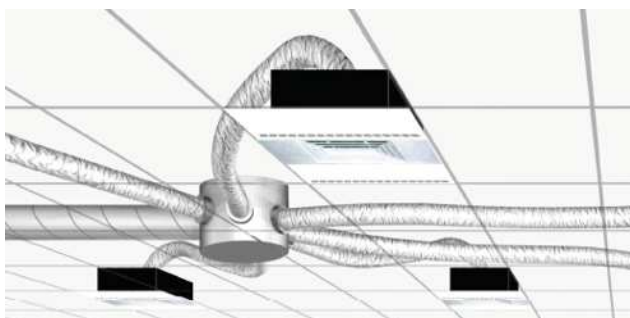


図1. マルチダクトシステム



図2. 商標

「マルチダクトシステム」は、「F-ONE タートル」で開発したワンタッチ機構の接続口を、吹出口にも応用し、接続はダクト端部に特殊加工した部材を装着したダクトを、チャンバーの吹出し側および吹出口に差し込むだけで完了します。従って、特別な技能を有していなくても施工可能で品質も安定します。

従来の接続に比べ、一箇所当りの作業時間は10分の1になりました。また、接続に工具は不要です。接続部の気密性も従来工法と同等以上の性能であることを確認しています。



図3. ワンタッチ接続イメージ（左：チャンバー側／右：制気口側）

「マルチダクトシステム」の年間販売数は5,000台（チャンバー台数ベース）を目標としています。

本件に関するお問合せは、以下までお願いします。

（分岐チャンバー、ダクトについて）

フジモリ産業(株)／西日本設備資材課

谷村：tanimura-kenji@fujimori.co.jp

東日本設備資材課

久野木：kunogi-junichiro@fujimori.co.jp

（吹出口について）

空研工業(株)／東京支店

柴田：y-shibata@kuken.com

営業統括部

宮崎：s-miyazaki@kuken.com

以上